

事業計画

事業名	2050年ゼロカーボンシティまつどへの機運醸成事業
団体名	一般社団法人銀座環境会議
事業担当課	環境政策課ゼロカーボンシティ推進担当室

事業概要	
<p>松戸市環境未来会議 OBOG 会メンバーと連携することで、同会議で提示された市民アクションを 実践し、同プランを普及させ、2050年ゼロカーボンシティ松戸への機運を醸成する。同会議の OBOG 会メンバーと連携し、「(仮)まつど環境みらい会議」を新たに立ち上げる。まず26年度は 関心の高かった使い捨て容器削減に向けて、市内事業者にも“給水スポット”“マイ容器スポット” になってもらう取り組みを実施する。</p>	
松戸市の課題	<p>市は2050年ゼロカーボンシティ実現を目指す一環として、2023年度～2025 年度と3年に渡って市民参加の「松戸市環境未来会議」を開催し、市民の脱 炭素アクションを模索している。これまで同会議の中で市民が提案した、身 近な取り組みを中心とした取り組み案は、まとめられ、冊子にするなどして、 市の公式サイトや広報まつど等で発信している。参加者に大きな気づきを与 えている同会議だが、2050年ゼロカーボンシティ松戸の達成に向けた市全体 の機運を高めていくには、以下の課題がある。</p> <p>① 従来の発信で会議の成果を多くの市民に届けていくのは容易でない。 ② 最終的には個々人や個々の事業者が実践する取り組みであっても、点だ けでは市民、市内事業者、行政が一体となった運動になっていかない。</p>
事業の目的	<p>① 市民が自らできる脱炭素に向けた行動を市内に広げること ② ①を通じて、松戸市環境未来会議で作り上げた「ゼロカーボンアクシ ョン」の取り組みの周知と実践を進めること ③ ①②を通じて2050年ゼロカーボンシティまつどの実現への機運を醸成 すること</p>
事業内容	<p>1 事業内容 事業は複数年度を予定しており、1年目となる令和8年度は、市が主催であ った「松戸市環境未来会議」の OBOG 会メンバーと連携し、「(仮)まつど環 境みらい会議」を新たに立ち上げる。「松戸市環境未来会議」の取組として 挙げられた容器の削減等を本事業で1年目に実践して2年目以降の実施内容 を議論・検討する。</p> <p>【令和8年度実施の活動について】※詳細なステップはスケジュール参照</p> <p>① 市内事業者にも協力を呼びかけ、マイボトル持参の市民に対して無料で水 道水を提供する“給水スポット”テイクアウト等で持参容器への提供を 行う“マイ容器スポット”になってもらう。</p> <p>目標数(50件)の達成に向けては、まず(仮)まつど環境みらい会議のメン バーそれぞれのよく利用する/友人・知人が経営する店舗や事業所への声がか けから始める。その後はスポットとなった事業者からの発信を足掛かりに関</p>

心層からのアプローチを待つとともに、それらの事業者が所属する商店会等へのアプローチを行う。関心のある事業者には、店舗等に実際に足を運び、活動の説明及びステッカー等の配布を行う。また、ちいき新聞や新聞の地方版等のローカルメディアにもアプローチする。

② それらの給水スポット及びマイ容器スポットをマップに落とし、市民に情報提供する。(仮) まつど環境みらい会議、松戸市、及び共感した市民による SNS 等での発信を通じて認知度を高める。

これを通じて使い捨てるプラスチック容器を削減し、市民の 2050 年ゼロカーボンシティまつど実現への意識醸成に資するものとする。

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	会議体(仮) まつど環境みらい会議実施体制を結成	実施体制：構成員、松戸市環境未来会議 2023～2025 に参加した O B・O G 及びファシリテーター、大学生、高校生、場所：市内公共施設
5月	専門家を招いて会議体メンバー向けの研修を実施する。内容は録画し、後からの参加者にも共有する	実施体制：会議体(仮) まつど環境みらい会議、外部講師、対象：会議体メンバー 場所：市内公共施設
5月	給水スポット及びマイ容器スポットの活動についての市民への呼びかけ動画、チラシの作成 完成次第、市内事業者への参加呼びかけ開始 給水スポットマップへの登録	実施体制：(仮) まつど環境みらい会議 場所：市内公共施設 実施体制：(仮) まつど環境みらい会議、対象：飲食店等を中心とした市内事業者 実施体制：(仮) まつど環境みらい会議、既存のスポットマップの活用、登録活動
6月	世界リフィルデーに向けて、集中的にスポットを活用して SNS 発信する、参加するお店からも SNS 発信してもらうなどの情報発信強化	実施体制：(仮) まつど環境みらい会議、スポットとなった市内事業所 対象：市民
6月	次年度(2027年度)以降の活動を検討開始	実施体制：(仮) まつど環境みらい会議

	1 1 月	市主催イベントに仮設給水機を設置し市民に本事業及び松戸市環境未来会議と同会議成果物（ゼロカーボンアクションまつど）についてアピール、同時にアンケート実施	実施体制：（仮）まつど環境みらい会議 対象：市民 場所：仮にモリヒロフェスティバルを想定（イベント趣旨に鑑みて、会議体で適切なイベントを選ぶ） アンケート：マイボトル使用やスポットが欲しい場所等について	
	2 月	ウェブでのスポット人気投票と上位スポットへの記念品進呈、情報発信	（仮）まつど環境みらい会議 市内事業者	
事業の目標	<p><通年活動></p> <p>○会議体がスポットを拡大し、スポット、マップについて SNS 等で情報発信</p> <p>○大学・高校、市民活動団体、一般市民に呼びかけ、会議体メンバー増強</p> <p>① 会議体のメンバー20名の参加</p> <p>② 給水マップ閲覧数 1,000 回</p> <p>③ SNS 発信 50 回</p> <p>④ 給水スポット 50 件新規登録</p> <p>⑤ マイ容器スポット 50 件新規登録 ※④との重複はあり</p> <p>50 回の SNS 投稿については、例えばインスタグラムを活用するので「インサイト」など、分析ツールでそれぞれ閲覧数を確認する。また、給水スポットの使用率については、5 店舗程度に 3 か月程度記録を依頼して確認する。</p>			
協働の必要性 （団体）	2050 年ゼロカーボンシティ松戸の実現には、市民、事業者、行政の総力を挙げた取り組みが必要である。そして、それは 3 者がそれぞれに頑張ろう、ということではなく、協働による相乗効果が必要不可欠である。個人の取り組みはともすると「個人がコツコツと」に収斂してしまいがちであり、これを大きなうねりにしていくには、多くの市民への呼びかけと事業者の協力が必要であり、それには市の発信力と信用が大きな推進力となる。			
協働の必要性 （市）	環境未来会議開催による市民の脱炭素意識の向上を実際のアクションに繋げる好例となり、2050 年ゼロカーボンシティまつどの実現に向けた市民参加促進の一助となる。実務面においても、市は発信力や信用があるが、ウェブ上での登録で事足りるタイプの事業と異なり、本事業では事業所に足を運んでの遣り取りが必要であり、団体及び多くの市民の協力が必須である。			
事業実施の役割 分担	<p>① 団体：事業全体の実施、進捗管理、会計管理</p> <p>② 担当課：動画・チラシ作成における助言・協力、マップの作成における協力、イベントでの協働、事業の発信</p>			
今後の展望	<p>上記の通り、協働事業 2 年目以降の活動については本事業を実施しながら（仮）まつど環境みらい会議で検討していく。</p> <p>協働事業 2・3 年目、協働事業終了後の使い捨て容器の削減事業については、チラシや動画等本事業のレガシーを活用しつつ、追加的費用が必要については千葉環境財団のちば環境再生基金等の助成金の活用を検討する。</p>			

事業の予算計画

【労力換算（限度額算入）】

（単位：円）

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	労力換算額 (A)	¥ 352,928	※別紙 労力換算計算書 参照

【収 入】

区分	科 目	予算額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 55,080	事業費の一部を団体の会計より拠出
	自己資金の合計額 (B)	¥ 55,080	
市	協働事業負担金 (C)	¥ 315,720	
合計額 (D) = (B + C)		¥ 370,800	

【支 出】

区分	科 目	予算額	積算内訳
負担金の 交付対象 経費	報償費	¥ 20,000	外部講師謝礼 20,000円×1回（リフィル活動の意義について）
	消耗品費	¥ 25,000	給水スポット大賞賞品 5,000円×5スポット
		¥ 48,000	広報物 給水スポットステッカー&ポスター120円×200枚 マイ容器スポットステッカー&ポスター120円×200枚
	印刷製本費	¥ 2,500	チラシ印刷 5円×500枚
	委託料	¥ 138,000	動画作成 動画制作 55,000円 撮影（6h以内） 33,000円
			チラシデザイン 20,000円×1回
			ウェブサイトデザイン 30,000円×1回
	使用料及び賃借料	¥ 64,400	水道直結型仮設給水機 3泊4日基本料金35,000円、冷却器オプション25,000円 会場使用料 4,400円（4時間利用）×1回
	通信運搬費	¥ 52,900	チラシ送付用 レターパック430円×30箇所
			水道直結型仮設給水機 往復送料40,000円
対象経費の合計 (E)		¥ 350,800	
（その他 対象外） 経費	交通費	¥ 10,000	構成員イベント参加時他 250円×往復×20回 交通費
	食糧費	¥ 10,000	打ち合わせ計13回のお茶、茶菓子代
	その他経費の合計額 (F)	¥ 20,000	
合計額 (G) = (E + F)		¥ 370,800	

【チェック項目】

- 1 協働事業負担金 (C) が、対象となる経費 (E) 欄の90%以内であること。
- 2 協働事業負担金 (C) が、自己資金 (B) 欄に労力換算額 (A) 欄を加えた額を超えないこと。
- 3 協働事業負担金については、50万円を上限とする。

労力換算計算書

(単位：円)

項 目		換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間回数×1076円
	打ち合わせ（動画、チラシ内容策定）	32,280 円	5 人 × 3 h × 2 回 × 1076 円
	動画の撮影	16,140 円	3 人 × 5 h × 1 回 × 1076 円
	スポット開拓作戦会議	32,280 円	5 人 × 2 h × 3 回 × 1076 円
	スポット開拓方法説明会	9,684 円	3 人 × 1 h × 3 回 × 1076 円
	スポット開拓	32,280 円	10 人 × 1 h × 3 回 × 1076 円
	スポット情報発信	16,140 円	10 人 × 0.5 h × 3 回 × 1076 円
	スポット登録方法説明	3,228 円	3 人 × 1 h × 1 回 × 1076 円
	スポット登録	32,280 円	2 人 × 0.3 h × 50 回 × 1076 円
	大学生、高校生勧誘作戦会議	32,280 円	5 人 × 2 h × 3 回 × 1076 円
	リフィルデー作戦会議	10,760 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 1076 円
	市主催イベント打ち合わせ	12,912 円	4 人 × 3 h × 1 回 × 1076 円
	市主催イベント参加	60,256 円	4 人 × 7 h × 2 回 × 1076 円
	次年度活動打ち合わせ	48,420 円	5 人 × 3 h × 3 回 × 1076 円
	スポット大賞選考	10,760 円	5 人 × 2 h × 1 回 × 1076 円
スポット大賞情報発信	3,228 円	1 人 × 3 h × 1 回 × 1076 円	
合 計 (A)	352,928 円		

事業の実施体制

事業従事者数	10 人
従事者	事業における主な役割
A	事業全体統括、渉外、会計、動画・チラシ作成、スポット登録方法説明、スポット開拓、スポット情報発信
B	渉外、会計、動画・チラシ作成、スポット登録、スポット開拓、スポット情報発信
C	スポット開拓、スポット情報発信
D	スポット開拓、スポット情報発信
E	動画・チラシ作成、スポット開拓、スポット情報発信
F	動画・チラシ作成、スポット開拓、スポット情報発信
G	スポット開拓、スポット情報発信
H	動画・チラシ作成、イベント参加、スポット開拓、スポット情報発信
I	動画・チラシ作成、イベント参加、スポット開拓、スポット情報発信
J	スポット登録、イベント参加、スポット開拓、スポット情報発信